

セルラー通信が困難な場所における高速大容量通信を実現

5G NTN通信対応 LEO衛星通信ユーザー端末が 「CEATEC AWARD 2025」の『総務大臣賞』を受賞

シャープが開発中の5G NTN通信対応 LEO衛星通信ユーザー端末（※1）が、「CEATEC AWARD 2025」において『総務大臣賞』を受賞しました。

CEATEC[®]
AWARD



「CEATEC AWARD 2025」は、本年10月14日（火）から17日（金）まで幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催される「CEATEC 2025」の出展品を対象に、出展者から応募のあったテーマの中から、「CEATEC AWARD 2025 審査委員会」がイノベーション性に優れる技術や製品、サービスなどを表彰するものです。

LEO衛星通信は、セルラー通信が困難な場所でも高品質な通信を可能とし、海上や山地、被災地などにおける通信手段としても有用性が注目されています。一方、現在の衛星通信は各事業者が独自の通信方式を採用しており、通信規格の標準化が普及に向けた課題の一つになっています。

当社は、スマートフォンの開発で培った通信技術や小型・軽量化技術を応用し、5G NTN通信に対応したLEO衛星通信ユーザー端末の開発を進めています。本年2月には、試作機を用いてLEO衛星と5G NTN通信で接続する実証実験に世界で初めて成功しました。すでに広く普及している5G技術をLEO衛星通信に活用することで、途切れにくいネットワークの実現やアンテナ部材の小型・軽量化、セルラー通信との部材共通化による低コスト化などが可能になり、衛星通信市場のさらなる発展への貢献が期待できます。将来的に、衛星通信がセルラー通信と同じ5G通信方式を採用すれば、相互の通信をシームレスに切り替えられるようになり、多様な環境下で安定した高速大容量通信が可能になります。加えて、5G通信で使われているネットワークスライシング（※2）などの先進技術を衛星通信にも応用することで、大容量通信を提供するインフラの整備や、低遅延が求められる自動運転・機器の遠隔制御など、幅広い通信ニーズへ対応できます。当社は、5G NTN通信対応 LEO衛星通信ユーザー端末の早期の実用化に向け、開発を加速してまいります。

■ 受賞内容： 『総務大臣賞』 5G NTN通信対応 LEO衛星通信ユーザー端末

■ 出展場所： 幕張メッセ General Exhibitsエリア ホール3／ブース番号 3H223

＜「CEATEC 2025」当社オンラインサイト： <https://corporate.jp.sharp/ceatec/>>

※1 LEO衛星通信アンテナやモデム機能などを統合した端末です。LEO：Low Earth Orbit（低軌道）の略。

※2 ネットワークを用途に応じて仮想的に分割する技術。

● 本開発は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）からの助成を受けています。（JPJ012368G50501）

5G NTN通信対応 LEO衛星通信ユーザー端末に関する情報は、
以下のウェブサイトでもご覧いただけます。
https://jp.sharp/business/lp/satellite_ut/

【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地